



生活の句読点

.....たばこ

8月分たばこ消費税 (見込額)

663,690円

「たばこ」は町内で 求めましょう

あなたがお買いになった 金額の11パーセントが 「たばこ消費税」として 八郷町の収入になります

八郷広報

発行所 八郷町役場 茨城県新治郡八郷町大字柿岡2009 印刷所 飯島印刷所 石岡市守木町

戸数と人口

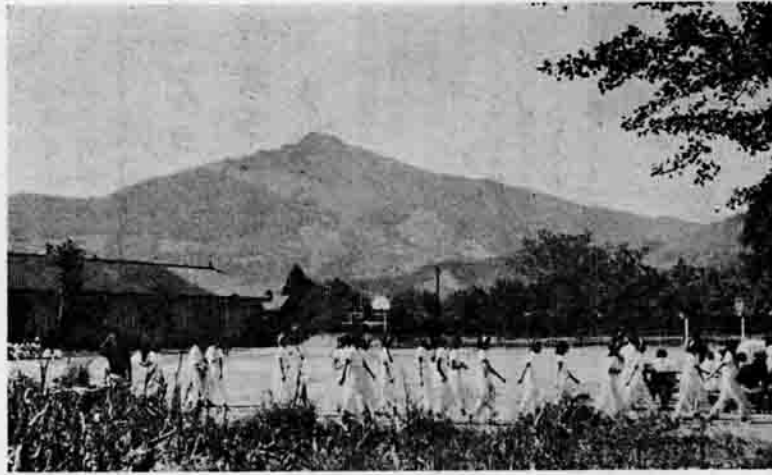
-8月末現在-

世帯数 5,696 人口 男 15,690 女 16,486 計 32,176

観光資源の開発めざし

東筑波観光協会設立

東筑波観光協会が九月十五日、公民館で関係者五十名が参加して発会式をあげ、設立された。東筑波は、湯袋峠を起点にし、風返峠を通り、筑波神社にいたる道路の建設が順調にすすんでいるので見通しは明るい。湯袋峠と風返峠間の湯袋林



この紫匂う山肌 この山を見つ生れ この山を見つ育ち 佐久良東雄

開発される東筑波

= 柿岡中学校庭から見る =

役場連絡所の廃止で

業務は地区農協へ

小幡・芦穂・瓦会・林・小桜の各地区には、連絡所を置いて徴税その他役場との連絡業務を行っていましたが、今後連絡所の業務は各地区農協同組合が取り扱うことになりました。

①町税、保険税、国民年金保険料、有線放送電話使用料は月末に一定期間をさだめ、役

石岡線を早く舗装に

促進期成同盟できる

石岡・柿岡間の県道は、利便性の割合には道路が悪く、舗装の早期実現が望まれている。東筑波観光協会の発会した九月十五日、石岡・柿岡線舗装促進期成同盟が目的達成のために「関係諸機関に対する陳情、請願」「関係市町村との連絡協議」などの事業をかかげて発足した。役員は

- ▽会長 関野信平
▽副会長 吉田次郎
▽常任委員 関英幸 友部来三 土田庄右衛門 大塚利善 関口栄一 滑川好道 平忠 須藤善一 上原淳一 渡辺捷治

農業委員会に条例で

農地部会と振興部会設置

八月十七日八郷町議会第八回臨時会には「農業委員会の農地部会および振興部会の設置ならびに定数条例の制定」を議決しました。

「愛の鐘」の協力に感謝

町婦人会柿岡支会長 土田太恵

朝な夕なに、静かになりわたる「愛の鐘」この建設に協力した多くの皆さまに特段のご協力をお礼申し上げます。紙面をおかりして、会を代表し厚くお礼申し上げます。



愛の鐘を設置

写真は役場屋上からウエストミンスター寺院の鐘のメロディーが流れる愛の鐘

申請はもれなく

基本選挙人名簿の登録

この名簿は十月末までに調製を終り、十一月五日からみなさんに縦覧していただいで十二月二十日に確定、来年の参議院議員選挙など、この一年間の各種選挙に使用される大切な名簿です。

まちなわだい

ブルができた 真家子ども会 子どもたちにとっ て、夏はいよいよ思 い出の多い季節であ る。特に、ことしの 真家部落の子どもた ちにとっては、生涯忘れな い「夏の日の思い出」をつくっ たことだろう。

Table with columns: 貸付区分, 貸付種類, 貸付金額, 貸付対象, 貸付期間, 償還期限, 利率. Rows include 事業開始資金, 支度資金, 技能習得資金, 生活資金, 事業継続資金, 住宅修繕資金, 修学資金, 修業資金, 母子家庭に対する貸付, 母子福祉に対する貸付.



下林の菊  
花ざかり

大宇下林の花組合では、いま菊の出荷に  
いそがしい。ここでは、年じゅう菊が  
つくられているが、菊はやはり秋の天下  
いさよとした大輪が切られて行く。  
(写真は石井さんの花畑で)

としよりの日に

長寿を祝い  
『赤い座布とん』

九月十五日は「としよりの日」、町では、三百九十九名を訪問、赤い座布とんを  
八十才以上の高令者四百十名(昨年は、記念に贈って長寿をお祝いしました。  
90才以上は

- 成田さん(93) 中山神谷とく 慶応3年11月27日生(信太郎)
- ほか14人 ②小幡 吉生 荒井徳松 2年10月19日生(勤治)
- ③戸部 片岡市塚仙松 3年1月14日生(長一)
- ④林 片岡上田林次郎 3年1月18日生(本人)
- ⑤五合 宇治会 奥川こま 3年6月16日生(博)
- ⑥林 片岡上田林次郎 3年10月1日生(重光)
- ⑦林 下林 鈴木てふ 4年1月4日生(丈七)
- ⑧柿岡 仲町 菊地とみ 4年1月13日生(惣重)
- ⑨五合 野田 国谷きよ 4年1月19日生(徳三郎)
- ⑩小幡 辻松 延たき 4年2月20日生(三郎)
- ⑪小幡 加生野 中島 高治 4年3月5日生(条)
- ⑫小幡 下青柳 高橋 次郎 4年4月30日生(節)
- ⑬林 下林 笹沼てう 4年8月12日生(繁雄)
- ⑭志瀬 中戸 石井あき 順位は生年月日の順、名  
前の下の( )は満年齢、生年  
月日の下のカッコ内は世帯主  
名。

第六回赤ちゃんコンクール

町代表に 浩ちゃん(林)と  
久美子ちゃん(園部)

「第六回いほらき赤ちゃんコ  
ンクール」の町審査会は、九  
月十九日八郷公民館でひらか  
れ、三十二名の地区代表の赤  
ちゃんの中から、大塚浩ち  
ゃん(林)と、深作久美子ち  
ゃん(園部)が町代表に選ばれ  
んは次のとおりです。(カツ

- 石岡保健所管内のコンクール  
に出場資格を得た。  
審査会が終わってから町代表  
と地区代表に、町と町医師団  
から賞状・賞品が贈られた。  
町代表と地区代表の赤ち  
ゃんは次のとおりです。(カツ
- コ内は保護者名)
- 町代表 根小屋 大塚 浩(功)
- 東成井 深作久美子(昭五郎)
- 地区代表 ①柿岡 江畑 浩幸(茂)
- 仲町 大久保浩子(芳太郎)
- 上宿 佐藤 信行(力雄)
- 戸の内 鈴木 茂(英)
- 片岡 上田 晃子(常男)
- 大関 桜井 映子(篤治)
- 小幡 川 又 関 民男(豊)
- 半田 亀田 敏江(章)
- 月岡 高橋 恭(武)
- 半田 杉山 洋子(弘)
- 戸の内 鈴木 茂(英)
- 片岡 上田 晃子(常男)
- 大関 桜井 映子(篤治)
- 小幡 川 又 関 民男(豊)
- 半田 亀田 敏江(章)
- 月岡 高橋 恭(武)
- 半田 杉山 洋子(弘)

赤い羽根が街を色どる十  
月がやってきました。日本  
で協同募金の仕事はしま  
ったのは、昭和二十二年の  
ことだから十五年めです。  
昔、スイスで一人の牧師  
が、道ばたの木に箱  
をつけておいて「あ  
たえよ、とれよ」と  
書きそえておいた。  
村の人々はできる範  
囲のお金をその箱に入れた  
一方その日の食べものにも  
困る人はその箱の中からい  
るだけのお金をもらった。  
こうして助け合いの仕事  
は、人々の暖かい心で育っ  
ていった。そして今から八

十五年目の「赤い羽根」

目標額 五十九万三千元

呼びかけて集め、集った金を  
社会事業や困った人々に分  
け配っている。集った金の二  
分の一が市町村の福祉事業に、  
四分の一を児童の福祉事業に、  
十分の一を社会事業や生活保  
護事業に使っている。また大

実績あげる  
瓦会婦人  
養豚組合

「明るい豊かな町づくりは  
まず各家庭の台所から」と  
始めたこの瓦会婦人養豚養  
鶏組合「発会式をあげたの  
は今年三月十三日だから  
まだ半年たらずなので期待  
する方が無理というものだ  
らう」と考えながら、  
発足以来丸六ヶ月を迎える  
九月十二日、カメラ片手に  
訪問してみた。



「養豚と養鶏では、間口が広  
くてしかたがなく、最初  
わたりはやらず、豚でい  
うとスタートをきった」とい  
うのが実情らしいが、養豚の  
ことは一ヶ年以上も費して、  
専門家の指導や話しあいなど  
研究を重ね  
ただけであ  
る。すでに  
二百頭以上  
を育て、育  
てつつある  
が一頭の損  
失もない、  
と一岡高  
々である。  
七月五日

恩給法の  
一部改正  
恩給裁定年限が加算復活

旧軍人・軍属に  
恩給法の一部が改正され、  
該当者は、旧軍人・軍属で昭  
和二十一年二月一日までに恩  
給裁定を受けなかった方々。  
(改正前の法律では、昭和二十  
一年二月一日までに恩給の  
裁定を受けた者の外は、戦地  
加算が認められなかった)

- このたびの改正で、廃止さ  
れていた戦地加算の制度を復  
活し、普通恩給に達する年限  
(下士官・兵は十二年、准士  
官以上十三年)を限度として  
加算し、恩給年限に達する旧  
軍人・軍属などに、恩給を支  
給することになったもの。
- なお、死亡された旧軍人・  
軍属に対しては、その遺族に  
扶助料として支給されること  
になりました。
- いつから支給されるか  
遺族扶助料は本年十月一日  
から  
普通恩給者は昭和三十七年  
十月一日から
- 申請の方法  
本人が軍歴申立書を役場を  
送る

県文化財に指定  
峯寺の立木観音



茨城百景の一つである峯寺  
山、ここには「京都の清水寺  
は峯寺のつ  
り堂をまね  
てつくられ  
た」ともい  
われる馬頭  
観音堂と  
もに、知ら  
れてる立  
木観音さま  
がある。

自分たちの力でもりたてな  
くてはならない」と。  
養豚をはじめた頃は「女  
に豚を売ったり買ったり、  
世話したりできるものか」  
などと周囲がにぎやか  
だったが、今では一戸で一  
頭から二頭、二頭から三頭  
とふえることに反対がない  
ところを見ると、実績が認  
められたのだから、という  
「野良でおやつに梨をたべ  
たりすると、皮を大切に持  
ち帰って、豚に与えます」  
という主婦たちの話を聞き  
「これならば、前途は明る  
い」と訪問するときと、  
まるでちがった気持ちで五合  
を後にした。(S記)  
写真は、婦人養豚組合の  
豚と渡辺さん。

その俗にいう「峯寺の立木  
観音」が、このほど「茨城県  
指定有形文化財」に指定され  
た。

この観音さま正しくは、西  
光院立木観音菩薩像で、今  
から八百五十年前に大字吉生  
上根の峯寺山ろくにあった立  
木山長谷寺の本尊として、無  
名の田舎仏師によって立木  
にぎざまれ、まつられていた  
ものという。それを明治四十  
二年に、村人たちが総出で峯  
寺山西光院へ五メートル四十  
センチの巨体を移転、安置し  
た。

住職の大沢さんは、「この  
観音像は元文二年(二百二十  
四年前)に一大修理を行なっ  
たことは記録にあるが、行基  
菩薩だということからすると、  
一千二百五十年前ごろつ  
くられたものと見られるが、  
確証はない。県では、平安朝  
末期(八百五十年前)の作だ  
と鑑定している」といってい  
る。

この立木観音さまも、彫刻  
第三十四号の県文化財指定に  
よって、永い歴史のページ  
として書き加えられることだ  
ろう。また、近く県の手で建  
物などが改修されることにな  
っている。

俳句  
柿岡 滝田源三郎  
愛の鐘 子よびもどす  
夜長かな  
共どもに 愛の鐘きく  
川又 前島夢人  
氣丈夫と云はれ  
夫の筆を掃く  
喜雨ありし夜よりの  
冷気々にかゝる  
瓦谷 増子海哉  
遅れ来る蟹股の  
老い秋暮く  
わくら葉のひらひら  
閑静に老いていふこと  
若々と  
金指 関口和昭  
満月に守られ  
女街へ行く  
秋葉摘む通かに  
病める母を恋い  
豊年のふみ看護婦が  
読み呉る  
柿岡 舟橋対峯  
秋茄子に老妻小言を  
混せて漬け  
筑波 山  
蜻蛉を飛ばしめどめり  
小山田 藤代竹堂  
秋の湖ポートは水  
艇に雪なき富士を  
眺めけり  
秋の旅夢の初鳥  
暮れかゝる

短歌  
金指 関口和昭  
故郷よりの電話受くれは  
母の声のその奥かすか  
法師蟬鳴く  
稲田より吹き来る風を  
身に浴びて百姓を継ぐ  
心決めたり  
細谷 金沢翠柳  
こわごわに頭を撫でて  
名を呼べば尾を振りて  
居ぬ君が愛犬  
草刈りのわらへの鎌に  
手負いしか母親あはれ  
血にまみれ居て  
柿岡 舟橋対峯  
テレビも備えた  
オートバイも買った  
七年豊作何買をか